

本当の感染予防をするために私たちは何をしたらいいのだろうか

● ウイルス感染予防十分ですか？

新たな年が明けても新型コロナウイルスが蔓延しています。寒さが増し、乾燥が続くとまだ広がってゆく恐れがあります。私たちはコロナと共に生活する新たな習慣を身に付けてきました。

しかし、本当の感染予防習慣はできているのでしょうか。マスクをし、家に帰れば手を洗い、行く先々でアルコール消毒をする——これで「私は感染予防対策をしている」といえるでしょうか。実際には手だけではなく、顔にも、頭にも身体にもウイルスは飛んでいるのです。家に帰れば手と顔を洗いましよと厚生労働省が出す感染予防ポスターには出ていますが、本来ならマスクを外すように洋服も脱ぎ、髪の毛も洗う必要があると言えます。

家や職場では石鹸で手を洗い、行く先々で何度もアルコール消毒をするお陰で、手がカサカサし、荒れた手にアルコールがしみついてつらいという人の声を多く聞くようになりました。本当の感染対策は、QOL(生活の質)を下

げずデイリー、ウィークリー、マンスリーに確実に実行できることを続けることだと思います。

そんなつらいアルコール消毒ですが、実は消毒をした瞬間に揮発してしまうので、すぐに次の感染の危険があることをご存じですか？

瞬間的には消毒されますが、揮発した後は消毒効果がない上に手荒れもひどくなるので、気を付けないとかえって感染し易くなってしまう。

このようなことは10年以上前から指摘されてきました。院内感染が社会的に大きな話題となった際に病院の医師、看護師は消毒による手荒れがひどく、消毒剤の改善を強く求めていました。その声を受けて、2006年「実践的院内・実験室内感染予防対策研究会」が立ち上がり、消毒薬の在り方について話し合われています。

そこで確実な抗菌作用、抗微生物作用はもちろん必要ですが、本当に感染症対策を実施できるには「使う人にやさしい製剤」であることが大切となり「銀(銀コロイドやナノ銀)が話題に上がり、以来その研究がされてきまし

た。今から14年も前です。

消毒薬としてはアルコール系が一般的ですが、前に述べた通り、油分や水分を取り込みますから、手は荒れ、揮発性なので何度も使わなければなりません。さらに、衣類やプラスチック、金属などを傷めるだけでなく、吸い込むと肺まで傷めてしまうので、室内で使うと様々な問題が起きます。

アルコールの次に使われているのは次亜塩素酸ナトリウムの消毒薬です。これも皮膚のたんぱく質に塩素が反応するので手が荒れ、塩素の刺激で目や鼻、のど、肺に炎症を起します。私たちが普段使っている漂白剤そのものと同じなので、衣類の色まで変化し、手指を消毒してもその塩素がガス化して私たちの体内に入ります。ウイルスは退治しても肺に入ると、肺炎を起こすので、安全なコロナ対策とは言えないでしょう。

14年前から研究グループが研究してきた消毒薬「銀コロイドやナノ銀」。「第1回研究会」ではすでに「銀コロイド製剤」が、紹介され、「銀コロイド製剤の抗菌、抗ウイルス効果」に

ついでの結果が報告がされています。銀は無機質の貴金属ですから、アルコールや次亜塩素酸ナトリウムのような化学物質とは微生物に対しての作用機序は全く違ってきます。

人の肌や衣類の繊維や革製品、プラスチックや金属などを傷めることは全くありませんし、口の中に入れても銀は無害です。然しながら、抗菌・抗ウイルスの効果が弱く、さらに変色するなどの問題があり、消毒薬として使うためには力不足でした。

「銀コロイドやナノ銀」の安全性、抗菌・抗ウイルス効果が報告されてから、コツコツと改良の研究を研究グループと続けてきたのがメデイサイエンス・エスポア株式会社です。

長い研究の結果、できたのが「HTシルバー」。これまで研究してきた「銀コロイドやナノ銀」から「シルバリアS」を開発し、さらに改良を重ねています。「ナノ銀や銀コロイド」に比較して10倍以上の抗菌効果があることが最大の特長と言えます。たったの10ppmでもウイルスに高い効果があります。

揮発したり反応したりしないので、私たちの肌にもやさしく、何回使っても肌荒れになることはありません。というより、一回使うとそのまま抗菌効果が長く持続するので何度も使う必要がないのです。衣類や家具に噴霧してもアルコールや次亜塩素酸のように化学反応を起こさないでこれらを傷めることもあ

りませんし、長い間抗菌・抗ウイルス効果を保ちます。

「純水」に「HTシルバー」を10ppm加えた製品が「HTシルバー10」です。更に、「純水」ではなく「HTシルバー」10ppmに「酸素補給水WOX」を使用し、酸素の力でさらにパワーアップした「Agオックス10」も開発されています。状況に合わせて使用するといいでしょう。

● 移さない、移らない対策と 共に免疫力を高めるのが大事

私たちは新型コロナウイルスが移らないようにいろいろな対策をしてきましたが、より大切なのがウイルスを寄せ付けない、もし移っても肺炎にならないために免疫力を高めるといことです。

免疫力を高めるために私たちは免疫細胞を活性化させる必要があります。細胞を活性化するにはエネルギーが必要です。そのエネルギーに必要なのが「栄養分」、「水」、そして「酸素」です。私たちの身体の細胞はすべてエネルギーによって動いています。内臓も、心臓も、脳も、筋肉も、さらに免疫細胞もすべてエネルギーが動かしているのです。コロナウイルスに感染しても肺炎にならないために肺の免疫力を高めなければなりません。

「栄養分」や「水分」を摂ることに私たちは気を付けていますが「酸素」はどうでしょう。つい忘れがちになりますね。この「酸素」が少ないとエネルギー不足になり、免疫力も落ちてしまい、体力がなくなり、悪くすると死んでしまいます。

歩く、ストレッチ、深い呼吸をするなどで、体内に酸素を摂り入れる工夫をしてみましょう。年齢と共に、酸素を吸う量は少なくなり、6歳を過ぎると、20代の時に比べ、2分の1くらいになってしまいます。

然しながら、コロナウイルスとの戦いは肺炎との戦いでそのためにはエネルギーが必要で酸素が重要です。出来るだけたくさん酸素が吸えるよう胸を張り、姿勢を正して歩くことも大切です。足りない分は肺から吸収する酸素ではなく、口の中の粘膜や消化管から酸素を吸収できる方法があります。それが「酸素補給水」として知られる「WOX®(米国で物質特許取得)」です。こうした「WOX®」を調子が悪い時だけは無く、毎日飲む等日々の習慣で健康を維持することができます。

新型コロナウイルス対策として、「HTシルバー」と「WOX®」を紹介しましたが、私たちがこれからもできる感染対策はいろいろあります。ワクチンを打つことができるまで、まだ時間がかかりそうです。今年もウイルスに負けな体づくりと対策をしてゆきたいものです。